



施 策

1

確かな学力の育成

施策の柱

(1) 学力向上の推進

細施策

①主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善の推進

■ 現状と課題

- 全国学力・学習状況調査などの諸調査の結果から現状と課題を把握し、教員が主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を行えるよう、「川越市小・中学生学力向上プラン」により教育委員会と学校が目標と指導方法を共有しています。
- 知識及び技能の定着・習熟と、思考力、判断力、表現力等の育成について、バランスのとれた指導を行っていくために、各種調査結果の分析結果に基づき、多様な他者との関わり合いを重視した「対話・協働による学び合い」の視点による授業改善が必要です。

■ 細施策の方向性

担当課

教育指導課

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を推進するため、**研修や学校訪問等を通して**、「川越市小・中学生学力向上プラン」で示す「川越授業スタンダード※」のより一層の定着と深化を図ります。
- 各種調査等の分析から現状と課題を把握し、教員一人ひとりの指導力向上と、学校の教育力向上を目指します。

細施策の指標

指標	説明	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
国語、算数・数学の授業の理解度(%)	【全国学力・学習状況調査】質問紙調査において、国語、算数・数学の授業は分かると回答した児童生徒の割合	83.0	90.0
児童生徒の学力の向上度(%)	【埼玉県学力・学習状況調査】学力を伸ばした児童生徒の割合	65.2	67.5

※川越授業スタンダード：こどもたち一人ひとりの主体的な学びによる学力向上を目指し策定した「川越市小・中学生学力向上プラン」に掲げているもので、授業の具体的な学習活動の流れを示した本市が目指す授業の基本形。

教師用



令和7年度版
川越市小・中学生学力向上プラン

～理解・共有・定着・深化のスパイラル～

志を高くもち自ら学び考え行動する子どもの育成



学力向上 = 授業改善 × 学びづくり

向上と定着のある授業
学び意欲と自己肯定感

授業スタンダードを
定着した授業づくり

安心して授業ができ
学びあえる環境

川越市小・中学生学力向上プランでは、「何を学ぶか」「何ができるようにするか」「どのように学ぶか」という授業改善の視点に基づいた「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指しています。中でも「どのように学ぶか」は、学力向上のための本市の重点であり、「学びの本質」を具現した「川越授業スタンダード」を方策として示しています。学力向上は、「授業改善」と「学びづくり」の両面から取り組むことが大切です。

【川越市の学力向上を支える4つの教育力】

学校の力 学校教育基本の事項に力けて、 学校教育の質の向上を図る	教師の力 計画・実施・評価・改善に努め、 授業の質の向上を目指す	家庭の力 習得や理解を身に付け、 成長や学びの基盤をつくる	地域の力 認識を共有し連携・協働して 子どもを支える
---	---	--	---

「学びの本質」を具現した「川越授業スタンダード」

学びは、子どもの問題意識から始まり、対話・協働を通して、最後は子どもに降り、自身で深めていくものです。この過程を体験することに、**学びの本質**があります。川越授業スタンダードは学びの本質を具現したものであり、川越市が目指す授業の基本形です。

めあて

見直し

対話・協働（学び合い）
練習・反復・繰り返し

まとめ

振り返り

川越市教育委員会

教師用



令和7年度版
川越市小・中学生学力向上プラン

～理解・共有・定着・深化のスパイラル～

授業と授業をつなぐ家庭学習



授業 → 家庭学習 → 授業

まとめと振り返りの
ある授業

できた・わかった・やれた
を実感する家庭学習

期待感をもって
挑戦する授業

川越市小・中学生学力向上プランで示す学びの本質を具現した「川越授業スタンダード」は、子どもの問題意識から始まり、対話・協働して学び、学んだことが一人一人の子どもに降り、自身で学んだことを確実にしていく学習の方法と過程です。

【家庭学習版】は「川越授業スタンダード」を補完、発展するものです。学びの過程で生まれてきた新たな疑問や興味・関心、自信や期待をもとに家庭学習を行うことで、子どもたちの学びを広げたり深めたりすることができます。

川越市小・中学生学力向上プランの理解・共有、定着、深化を新たな視点で推し進める授業と授業をつなぐ家庭学習に挑戦してみませんか。

「自己調整力」を高める家庭学習

家庭学習は児童生徒自身が自らの学びをコントロールする力（自己調整力）を向上させます。学びをコントロールする力（自己調整力）を効果的に向上させるには、授業の中の「振り返り」を通じた自己モニタリング（自分の学びを自分で客観視すること）が重要です。

まとめ

振り返り

家庭学習

めあて

見直し

川越市教育委員会

教育委員会と小・中学校が目標を共有し、本市の学校教育の 更なる充実とこどもたち一人ひとりの学力向上を図ることを目指して策定したプラン。

② ICT活用の推進

■ 現状と課題

- 主体的・対話的で深い学びの実現に向け、ICTの活用事例を創出・周知しております。
- 学校間や教職員間でICTの活用頻度や精度に差が生じることがないように、すべての学校で、一定の水準におけるICTの活用を推進する必要があります。

■ 細施策の方向性

担当課

教育指導課

- 具体的なICT活用の方法について周知することで、多様な他者との関わり合いを重視した「協働的な学び」と、学習内容の確実な定着と学習を深め広げる「個別最適な学び」の充実を図ります。
- 研修等で、ICTを活用することによる効果等を具体的に示すことで、学校や教職員のICT活用に対する意識醸成を図ります。

細施策の指標

指標	説明	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
授業におけるICT活用の状況(%)	【全国学力・学習状況調査】 自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、児童生徒一人ひとりに配備されたPCなどのICT機器を週3回以上活用したと回答した学校の割合	34.0	80.0

③家庭学習の充実

■ 現状と課題

- 「川越市小・中学生学力向上プラン（家庭学習版）」により、こどもたちが学びの過程で生まれた新たな疑問や興味・関心、自信や期待をもとに家庭学習に取り組むことで学びを広げたり深めたりすることができるよう、教員に周知しています。
- 家庭学習の実施状況は学校ごとに異なっていることから、「川越市小・中学生学力向上プラン（家庭学習版）」で示す授業と関連付けられた家庭学習について、具体的な事例を示し、実施を促していく必要があります。

■ 細施策の方向性

担当課

教育指導課

- 実践事例の共有や研修の実施を通して、具体的な家庭学習の実施方法について~~周知していき~~
~~ます。~~の周知を図ります。
- こどもたちが自身の学びを広げたり深めたりすることができるよう、各学校に家庭学習の取組事例を周知するなどの取組を推進します。

細施策の指標

指標	説明	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
児童生徒の 家庭学習の 状況(%)	【全国学力・学習状況調査】 学校の授業時間以外に、普段 (月曜から金曜)、1日あた り1時間以上勉強していると 回答した児童生徒の割合	65.7	80.0

施策の柱

(2) 校種間連携の推進

細施策

①幼稚園・保育園・認定こども園・小学校の連携

■ 現状と課題

- 各小学校が近隣の幼稚園、保育園、認定こども園と連携し、接続期における接続を円滑なものとするために、川越市幼児教育振興審議会にて園・小学校の連携の在り方や各年の研究実践について話し合っています。
- 幼稚園・保育園・認定こども園と小学校における円滑な接続に向け、育てたい幼児・児童像の共有や連携事業を取り入れた教育課程を編成する必要があります。

■ 細施策の方向性

担当課

教育指導課

- 幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を、園・小学校において共有し、それぞれの教育・保育に生かすことで、園・小学校の円滑な接続を図ります。
- 川越市幼児教育振興審議会において、園・小学校の連携の在り方や各年の研究実践について話し合うことなどを通じて、園・小学校の円滑な接続と幼児教育の充実を図ります。
- 園・小学校の教職員等を対象とした研修を実施し、幼児教育の充実を図ります。

細施策の指標

活動指標	説明	現状値(令和6年度)	令和12年度
幼保小連絡懇談会への参加状況	小学校を中心とした地区の幼稚園・保育園・小学校でグループを組み開催される懇談会への参加状況	幼保小連絡懇談会への参加を促すことで、幼稚園、保育園及び小学校低学年の保育や教育の現状から幼児教育について理解を深め、その充実を図ります。	



こどもの発達や学びは、幼児期から児童期を通じて連続し、さらに将来にもつながっていきます。

一人ひとりのこどもの発達や学びを、切れ目のないようにつなぎ、次の段階で一層発展できる教育・保育を目指すために「ときも学びのプロセス」を活用しております。

②小中一貫教育の推進

■ 現状と課題

- 校種間連携の充実を目的とした小・中学校合同研修会の開催基準日を設定（校種間連携の日）し、各学校が創意工夫しながら教職員同士の交流や児童生徒の交流を中心に、小中９年間の円滑な接続を目的とした取組が実施できています。
- 同校種や異校種が複数存在する中学校区では、連携や調整を図る学校数が多いため、取組の推進が難しい現状があります。校種間の円滑な接続を目的とした交流は継続しつつも、小中９年間の連続した教育課程の編成へ重点を移行していく必要があります。

■ 細施策の方向性

担当課

学校管理課

- 教科等について９年間の系統性を踏まえた学習を推進します。
- 教育課程の連携を更に推進させ、小中一貫教育の充実を図ります。

細施策の指標

指標	説明	現状値(令和６年度)	目標値(令和１２年度)
近隣の学校と教育課程の接続、共通の取組の実施率(%)	【全国学力・学習状況調査】 学校質問から、「前年度までに、近隣等の中学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定等、教育課程に関する共通の取組をどの程度行いましたか」という質問に「よく行った」と回答した学校の割合	小学校 28.1 (９校) 中学校 31.8 (７校)	小学校 40.0 50.0 (13校) (16校) 中学校 40.0 50.0 (9校) (11校)

施策の柱

(3) グローバル化に対応する教育の推進

細施策

①英語指導助手の配置事業の充実

■ 現状と課題

- 市立学校全校に英語指導助手を配置し、児童生徒の外国語でコミュニケーションを図る資質・能力を育成するとともに、英語指導助手研修会や英語教育推進訪問等の機会をととして、英語指導助手の資質・能力の向上を図っています。
- 児童生徒が生きた英語に触れる機会を一層充実することができるよう、英語指導助手が授業や授業外で積極的に参画できるようにするとともに、引き続き英語指導助手の資質・能力の向上を図る必要があります。

■ 細施策の方向性

担当課

教育センター

- 英語指導助手と教員とのより良いチーム・ティーチング（共同授業）の実現や授業外での教育活動の充実に向けて、各学校を訪問して指導及び支援を進めます。
- 英語指導助手が日本の学校教育への理解を深めたり、授業での役割や児童生徒への効果的な働きかけ等について学んだりできるよう、研修会の充実を図ります。
- 児童生徒が自国や他国の言語や文化を理解し、グローバルな視野で活躍するために必要な資質・能力を身に付けることができるよう、川越市イングリッシュキャンプ等、児童生徒が生きた英語に触れ、英語を実践的に活用する機会の確保 **に取り組めます。**を図ります。

細施策の指標

指標	説明	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
英語指導助手の参画状況(%)	英語教育実施状況調査において、英語指導助手が、教師とのやり取りを児童(生徒)に示す、児童(生徒)のやり取りの相手を行う、などの活動を、「75%以上の授業で行った(行う)」と回答した学校の割合。	86.6	100

②小学校・中学校英語教育の充実

■ 現状と課題

- 小・中学校の外国語科担当教諭等を対象とした研修の実施や、外国語活動・外国語科研究委員会による教材・指導資料等の作成及び配布等をととして、教員の外国語の指導力向上を図っています。
- 児童生徒の英語力を向上させるため、研究や研修等をととして教員の外国語の指導力向上を図るとともに、「5ラウンドシステム※」の指導方法を市内に広く発信し、4技能5領域※をバランスよく育成できるようにしていく必要があります。

■ 細施策の方向性

担当課

教育センター

- 教員の外国語の指導力向上を図るため、外国語活動・外国語科に係る研修会を充実させるとともに、授業の充実・改善等に資するための教材・指導資料等の作成・配布を進めます。
- 「5ラウンドシステム」を定着させ、教員の「5ラウンドシステム」に係る実践的指導力を向上させるため、研修等の学ぶ機会の充実を図ります。

細施策の指標

指標	説明	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
生徒の英語力の状況(%)	英語教育実施状況調査において、CEFR（ヨーロッパで作成された外国語学習者の習熟度を示すガイドライン）のA1レベル相当（英検3級など）以上の英語力を有する（と思われる）生徒の割合	67.4	70.0

.....

※5ラウンドシステム：教科書を効果的に活用する指導方法。教科書的全単元のストーリーを、年間で4～5回繰り返し学習する。ラウンドごとに学習の目標を変えながら、同じストーリーに繰り返し触れることで、英語表現の効果的な習得を可能にし、自分の考えや思いを主体的に伝えることができる生徒の育成に資することが期待される。

4技能5領域：4技能とは、英語の学習において育成すべき技能のことであり、「聞くこと」「読むこと」「話すこと」「書くこと」のことを指している。学習指導要領では、「話すこと」の技能を、「話すこと[やり取り]」「話すこと[発表]」に2領域に分け、その他（「聞くこと」「読むこと」「書くこと」）と合わせて5領域とし、領域別に設定した目標を達成することととして外国語科の目標を達成することを目指している。

施策の柱

(4) 学校教育の情報化の推進

細施策

①情報活用能力の育成における情報技術の活用および特性の理解

■ 現状と課題

- 各種調査による児童生徒の情報活用能力の把握と、各学校におけるＩＣＴを活用した授業実践を実施しています。
- 児童生徒における情報の整理・分析等に関する能力やプログラミング的思考の育成について、体系立てて進めていく必要があります。

■ 細施策の方向性

担当課

教育指導課

- 教員の研修において、ＩＣＴを活用した授業の実践事例等を示すことで、児童生徒の情報活用能力の育成を図ります。
- 児童生徒における情報の整理・分析等に関する能力、プログラミング的思考や生成ＡＩの活用等について、体系立てた育成方法を検討し周知してまいります。の検討及び周知を図ります。

細施策の指標

指標	説明	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
児童生徒の情報活用能力の状況(%)	【全国学力・学習状況調査】 学習者用コンピュータを使って情報を整理することができると回答した児童生徒の割合	-	90.0

②情報セキュリティ・モラルに関する資質・能力の育成 情報技術の適切な取扱い

■ 現状と課題

- 各学校で情報モラル・情報セキュリティに関する児童生徒に対する指導を実施するとともに、教職員の研修においても情報モラル・情報セキュリティについて取り扱っております。
- 技術の進歩により、児童生徒が身に付けるべき情報モラル・セキュリティの内容が変化していることから、時代に即した情報セキュリティ・情報モラルに関する資質・能力を計画的に育成していく必要があります。

■ 細施策の方向性

担当課

教育指導課

- 情報 ~~セキュリティ技術の適切な取扱い~~ に関する内容を各種研修等で取り扱うなどの取組により、教職員の意識向上を図ります。
- 時代に即した情報モラル・情報セキュリティに関する資質・能力が身に付けられるよう、「情報モラル・情報セキュリティ指導カリキュラム」の更新を含め、体系立てた育成方法 ~~を~~ ~~検討・周知していきます。~~ の検討及び周知を図ります。

細施策の指標

指標	説明	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
児童生徒の情報モラル・情報セキュリティの状況(項目)	【市独自調査】 情報モラル・情報セキュリティに関する調査における小・中学校各7項目、合計14項目において、95%以上が肯定的な回答をしている項目数	2.5 6	7 14

③教育の情報化に関する推進体制の充実

■ 現状と課題

- 教員の ICT 活用指導力の向上を図るとともに、学校 ICT 環境全般の課題への対応を継続して行うため、業務委託によるヘルプデスクの設置や訪問支援員の訪問支援を実施しています。
- 教員における I C T 活用指導力の格差是正に向け、研修の実施や教員のニーズに合った支援体制構築をしていく必要があります。

■ 細施策の方向性

担当課

教育指導課

- 教員の希望や状況に応じて、受講科目が選択可能な研修等を実施することで I C T 活用指導力の育成を図ります。
- 川越市 G I G A ポータルサイト等を活用し、教員が I C T 活用に関する情報を取得しやすい環境の整備を進めます。
- 学校の I C T 環境の変化に応じて、ヘルプデスク設置等の適切な支援体制の整備を引き続き推進します。

細施策の指標

指標	説明	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
ICT 活用に関するサポートの状況 (%)	【全国学力・学習状況調査】 コンピュータなどの ICT 機器の活用に関して、学校内外において十分に必要なサポートが受けられていると回答した学校の割合	85.4	95.0

④ ICT環境の整備

■ 現状と課題

- 1人1台の学習者用コンピュータやインターネット回線及び、電子黒板等の整備・維持・管理を行っています。
- 安定した学習環境を維持するため、ネットワーク環境・学習者用コンピュータ等の運用保守及び適切な更新を継続するとともに、時代に即した情報機器やアプリケーション等の整備を適切に行う必要があります。

■ 細施策の方向性

担当課

教育指導課

- ネットワーク環境や学習者用コンピュータ等の契約期間や耐用年数に基づき、適切な運用保守及び更新を実施します。
- 時代に即した情報機器やアプリケーション等のデジタル環境を、適切に整備していきます。

細施策の指標

指標	説明	現状値(令和6年度)	目標値(令和12年度)
デジタル環境の整備状況 (項目)	小・中学校におけるデジタル学習基盤等の整備状況 【対象項目】 ・ 学習者用コンピュータ(第2期) ・ 次世代型校務支援システム ・ ダッシュボード ・ 指導者用端末(校務兼用) ・ デジタルドリル ・ 採点システム	整備済み項目 0	整備済み項目 6